

改めて、ユーミンを聴いています



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

これを書いている9月半ばでは「本当に秋風は心地よい」としみじみ感じているのですが、それほどに今年の夏は暑かったですね。皆さまはどのようにしてこの季節を乗り切ったのでしょうか。当方の場合は、とにかくイエにいる間中、エアコンを27℃設定で連続運転させて乗り切ったところですよ。しかし、エアコンに長時間かかっていると、かなりカラダが冷えて、不健康には違いありません。そこで、同時に半身浴も取り入れ、長めに風呂に浸かっておりました。以前にも申しましたが、当方は風呂マニアなので、長めの入浴もとくに苦になりません。

問題は、風呂で音楽を鳴らすためのアンプが夏前に故障してしまっていることでした。洗面所にはアンプやCDプレイヤーを設置する棚を拵えてはありますが、置けるのは省スペースタイプのモノであり、一方、風呂場の天井にはBOSE製の高級なスピーカを埋め込んでいるので、アンプもそれなりの音が出るモノにしなければ意味がありません。そこで、ネットで代替品を物色したところ、「中華デジアン」なるものを発見した次第です。これはmade in Chinaのデジタルアンプのことですが、オモチャのようなちっこい外見、約3千円という価格に似合わず、びっくりするようないい音を出すということです。とりあえず、お試しで買って見たのですが、これが大正解、音楽を聴くのが以前にも増して楽しくなりました。

さて、そうすると、聴く楽曲を追加しなければなりません。折しも、スタジオジブリの最新作のテーマソングに起用された「ひこうき雲」がTVの番宣で集中的に流されており、思い出したのがユーミンでした。そうだ、久々にユーミンを聴こう!で、所有している昔のCDの山を漁って探し出したのが、荒井由実時代と松任谷由実時代の初期から中期までの十数枚。う〜ん、大学生時代、当時流行し始めた貸しレコード屋で、音飛びを気にしつつカセットテープにせっせと録音していたはずですが、その後、CD版を買い直したのでしょうか?とにかく新たに「全曲集」などを買わずとも、すぐにかげられ、その世界に浸ることができました。

改めて聴くユーミンは伸びやかな歌声(キラいなヒトもけっこういるようですが)、耳に残るフレーズで、詩のイメージが絵画的にぱあっと想起できる名曲が多いですね。個人的には「海を見ていた午後」、「卒業写真」、「最後の春休み」、「よそゆき顔で」、「まぶしい草野球」、「ビュッフェにて」などがとくに(再度)お気に入りとなりました。

ユーミンがシンガーとしてデビューしたのは1972年ですが、フォークソングとアイドル歌謡曲全盛の時代にニューミュージックが台頭し始めた時期でもあります。この頃は「日本はダメだダメだ、欧米はスゴイ」とまだ言われていた時期でもありました。当時、小学校高学年から中学生に差し掛かる年代の当方は、そのようにさんざん教員に刷り

込まれたものですが、「こんなに経済成長している日本って、そんなにダメなもんか?」とか思っていました。そして、一つ上の世代がハマっていたフォークソングにはイマイチ入り込めず、一方で、ニューミュージックには素直にハマっていったのです。そのように日本がある程度豊かになった時期の人々の心情に、ユーミンの歌はジャストミートしたのでしょうか。

さて、昔はひたすら消費してただけだったのですが、一度生産する側に回ると、同じモノに接しても、どのようにしてこの曲ができたのか?とか、本人を取り巻く環境はどう変化し、それにどう対応していったのか?とか、ユーミンに対する見方にも変化が出てきます。このことには1983年に発売された『ルージュの伝言』という、ユーミンの自分語りを山川健一氏が文章に起こした本が解答をくれました。

そこで得た情報は、誤解を恐れずに自分なりに大胆に要約すると、「語りた風景を先に思いつき、これを伝えるために恋愛をテーマに持ってくる」、「語っている恋愛シーンは必ずしも実体験に基づくものではなく、イメージを膨らましていけば作れる」などなど。なるほど、美術を専攻し、その感覚を磨いた上で、それに想像力を乗せて、経験値以上の詩を書いていった、そこが自称「天才」ということなのかと合点がきました。さらにただ単に、次から次に自らの感性に任せて作詞作曲に励んでいた(だけ)というわけではなく、一方で「時代の空気を掴む」とか、「nonnoの読者層をターゲットにしている」とか、音楽ビジネスとしてのさまざまなマーケティング努力も本人自らがきちんと行っているのにはアタマが下がります(主に結婚後あたりかららしいですが)。それが後のバブル期頃に「恋愛の教祖」とまで崇め奉られることに繋がっていったのでしょうか。

ただ、当方は、その頃のユーミンにはすでに興味を失っており、「卒業」していたのです。ユーミンは現在までに36枚ものオリジナルアルバムを発売していますが、個人的に興味が続いたのは12枚目の『昨晚お会いしましょう』あたりまででした。その後のアルバムは積極的にはほとんど聴く気にならなかったのです。これは改めて聴いても同様で、その理由は、どうも情動的にピンと来なくなったという、実に曖昧なものでした。ユーミンがマーケティングで努力した結果、新たなファン層は獲得できたものの、私のようなファン層を失ったという現象が起きたのかもしれませんが、また、年齢を重ねるとともに心境が変わり、自然に卒業する場合もあるのでしょうか(永遠のファンというヒトもいるのでしょうか)。

このあたりも織り込んで最適なマーケティング戦略を継続して組み立てていくのは、実に難しいことなのでしょう。さらに言えば、事情さえ許せば、苦しい思いをして長く現役なぞ続けなくても、さっさと「伝説」になった方がマシなのかもしれません…。

NEWS
1 全国菓子大博覧会
褒賞伝達式を開催

香川県菓子工業組合

香川県菓子工業組合(田村日出男理事長)は9月5日、リーガホテルゼスト高松(高松市古新町)で菓子大博覧会褒賞伝達式を開催しました。

全国菓子大博覧会は、明治44年に始まり、菓子の歴史と文化を後世に伝えるため、ほぼ4年に1度、開催されている日本最大の菓子業界の祭典で、大博覧会での受賞は菓子業界の中で最高の栄誉とされるため全国の菓子メーカーは日々研鑽を重ねています。

26回目の今大会は、4月19日から24日間にわたり広島県で開催され、香川県から出展した中から、(株)宗家くつわ堂、増田ニコニコ庵、夢果房たから、(株)こんびら堂、松風庵かねすえの5社が名誉総裁賞を受賞しました。

伝達式には、受賞者をはじめ関係者約50名が出席し、田村理事長の挨拶、平木享前香川県議会議長の来賓挨拶の後、田村理事長より受賞者一人一人に賞状が手渡され、その後、和やかな雰囲気のもと懇親会が開催されました。



▲名誉総裁賞受賞の皆さま

NEWS
2 違反広告など一斉取り締まりを
実施

香川県屋外広告美術協同組合

香川県屋外広告美術協同組合(坂本智理事長)は9月1日から10日の屋外広告美化旬間に合わせ、9月6日に県、市町やボランティア団体などの37団体と合同で県内一斉に違反広告物の撤去や取締を行いました。

「屋外広告美化旬間」は昭和57年に設定され、全国で業界団体などが街頭キャンペーンをはじめとした啓発活動が行われています。

一斉取り締まりは、景観維持や道路の安全確保を目的に毎年6月と9月に実施されており、違反件数は2002年をピークに減少しています。

この日は県内6ブロックに分かれて、146人が巡回し、張り紙69件、張り札37件、立て看板9件、広告旗16件、その他1件が撤去されました。



▲撤去作業の様子

NEWS
3 古天神大祭を開催

高松片原町西部商店街振興組合

9月21日に片原町西部商店街振興組合(大内泰雄理事長)は古天神大祭を開催しました。

「古天神大祭」は、高松市内で最も古い御神体が菅原道真公をお祀りしている神社である華下天満宮をお祭りする恒例の例祭で、毎年秋に行われています。

特設ステージではオープニングイベントの後、「ダブルネームものまねライブ」などが行われました。

商店街の沿道では、商店街が校区である高松第一学園の6・7年生が「高松みらい科」の授業の一貫として、かき氷やフランクフルトを販売した「子ども商店街」や高松第一中学校の生徒会で行った射的・ヨーヨーつりなどの「中学生縁日」の他「将棋大会」などが行われ、たくさん子ども達で賑わいました。

またこの日は、10月9日のトラックの日に合わせて、一般社団法人香川県トラック協会(楠木寿嗣理事長)も共催し、「輸送戦隊香川県トラックレンジャーショー」や「トラックよさこい連」が商店街を練り歩くなどお祭りを盛り上げました。



▲子ども商店街コーナーの様子

FROM 青年部

第1回さぬき産shokuフェスタ ～中央会青年部まつり2013 in サンポート～

本会青年部では、地場産業を始めとする各業界の発展・振興を目的に『第1回さぬき産shokuフェスタ～中央会青年部まつり2013 in サンポート～』を開催します。ぜひお越し下さい。

◇日 時 平成25年11月2日(土)
11:00～16:00(オープニングイベント10:30～)

◇場 所 サンポート高松 多目的広場

◇内 容

①体験型ワークショップ

庵治石プレートづくりや電気実験、コケ玉づくりなど。子ども達に色々な職業を体験してもらいます。

②地場産品等販売コーナー

香川漆器や家具など地場産品の展示即売。さぬきうどん、オリーブ牛、天ぷらなど“うまいもん”の販売も行います。

③ステージイベント

地元ヒーロー「石匠庵神レムジアショー」&「お魚つかみどり体験」。

問い合わせ:香川県中央会青年部事務局(TEL087-851-8311)

イベント詳細:<https://www.facebook.com/kagawa.chuokai.seinenbu>

http://www.chuokai-kagawa.or.jp/chuokai/seinenbu/maturi/maturi_top.html



中央会だより

ものづくり補助金の採択事業者説明会を開催

本会は、9月9日、ホテルパールガーデン(高松市福岡町)において、ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金に係る採択事業者説明会を開催しました。説明会には、今回の2次公募で採択となった61社から120名が出席しました。

はじめに、同補助金の香川県地域事務局・三好事務局長が「採択企業の皆さま方には、本事業において、計画に沿った試作品開発や設備投資等の円滑な実施により、企業の競争力強化、販路開拓を図っていただき、施策の目的である経済活性化に繋がってほしい」と挨拶。

続いて、本事業を担当するものづくり支援室・岡田室長ほか担当者が今後の補助事業の流れや事業実施上の留意事項について詳細な説明を行った後、質疑応答に入りました。

この補助金支援については、国の平成24年度補正予算で行うもので、予算額に達したため、中小企業庁は、今回をもって募集を終了するとホームページ上で発表しました。

なお、1次及び2次公募の結果、採択企業数合計は、全国で10,516社、その内、県内企業は89社となりました。



▲ものづくり支援室・岡田室長による説明



▲120名が出席した会場内の様子

お知らせ 1

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構からお知らせ

高年齢者 雇用安定助成金のご案内

高年齢者を積極的に活用する事業主の皆さまへ、生涯現役社会の実現に向けて
高年齢者の雇用環境の整備を行う事業主への助成金があります。

高年齢者活用促進コース

支給金額：上限500万円

費用の1/2(中小企業は2/3)を支給します。

ただし60歳以上の雇用保険被保険者1人につき20万円を上限とします。

新分野への
進出等

機械設備の
導入等

雇用管理制度の
導入等

定年の
引上げ



◎申請の手続きや申請をお考えの方は下記の香川高齢・障害者雇用支援センターまでお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 香川高齢・障害者雇用支援センター

〒761-8063 高松市花ノ宮町2-4-3香川職業訓練支援センター内【TEL087-814-3791】

URL: <http://www.jeed.or.jp>

お知らせ 2

「必ずチェック最低賃金！ 使用者も 労働者も」 ～香川労働局～

香川県最低賃金は

平成25年10月24日から **時間額686円** に改定されます。

この最低賃金は、臨時やパートを含むすべての労働者に適用されます。ただし、特定の産業(①冷凍調理食品製造業、②はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業、③電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業、④船舶製造・修理業、船用機関製造業)については、特定最低賃金が適用されます。

最低賃金に関するお問い合わせは香川労働局賃金室(TEL.087-811-8919)までお願いします。

商工中金だより

独立行政法人日本貿易保険(NEXI)と連携し、「NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資」制度の取扱いを行っています。

【「NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資」制度】

貸付対象者	以下の2点を充足される方 ①NEXIの貿易保険が付保された輸出代金債権を保有する法定中小企業 ②商工中金の株主となって頂いている中小企業団体とその構成員の皆様 ◆中小企業等の皆さまで、現在中小企業団体の構成員になられていない方は最寄りの商工中金各支店にご相談下さい。
貸付形式	手形貸付 資金使途 運転資金 貸出通貨 日本円、米ドル
貸付条件	【貸付金額】(日本円)輸出代金債権額を上限 (米ドル)100千ドル以上、且つ、輸出代金債権額を上限とする 【利率】当金庫所定の利率 【利払方法】(日本円)一括前払い、(米ドル)一括後払い 【貸出期間】担保とする輸出代金債権の決済期日とする(原則1年未満) 【償還方法】期限一時
担保	①債権譲渡禁止特約がない輸出代金債権 ②NEXI貿易保険保険金請求権
保証人	必要に応じて提供いただきます
その他	融資に際しては当金庫の審査が必要となります。審査結果によってはご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

なお、詳細につきましては、商工組合中央金庫 高松支店までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 中小企業事業からのご案内 ●

下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫 高松支店 中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金 (固定金利型)	6億円	特別利率③ ただし、6年目以降は 基準金利+0.2%	6億円	設備 運転 15年 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	特別利率①②③	5億4千万円	設備 運転 20年 7年
新事業活動促進資金 (固定金利型)	7億2千万円	特別利率①③	2億7千万円	設備 運転 20年 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	特別利率①②③ 特設工率利率	4億円	設備 運転 15年 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	特別利率①②	2億7千万円	設備 運転 15年 7年	経営環境変化 対応資金	7億2千万円	基準利率 (※)	—	設備 運転 15年 8年
企業活力強化資金	7億2千万円	特別利率①②③	2億7千万円	設備 運転 20年 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 運転 10年 5年
海外展開資金	7億2千万円	基準利率 特別利率②	2億7千万円	設備 運転 15年 7年	企業再建・ 事業承継支援資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 運転 20年 15年

(※)長期運転資金に限り、上限3%

(注)同一貸付でも、信用リスクや融資期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

● 国民生活事業からのご案内 ●

融資制度内容

経営環境変化資金(セーフティネット貸付) ~最大0.6%引下げ~

ご融資の対象	社会的、経済的環境の変化により、一時的に売上や利益が減少する等、業況が悪化している方
ご融資限度額	4,800万円 [生活衛生セーフティネット貸付(運転資金のみ)の融資限度額は5,700万円です。]
ご融資利率	基準利率(1.45%~2.90%) ただし、運転資金のうち次に掲げる要件に該当する場合は、それぞれに定める利率が適用されます。 ①雇用の維持又は拡大を図る場合は、「基準利率▲0.2%」 ②次のすべての要件を満たす場合は、「基準利率▲0.4%」 (イ) 認定経営革新等支援機関又は公庫の経営指導を受けて事業計画を作成すること (ロ) 最近の決算期において、借入負担が重く経営の改善に迫れていること

IT資金(企業活力強化貸付) ~情報化の推進を図るみなさま~

ご融資の対象	情報化の推進を図るみなさま(情報技術の活用により業務方法などの経営革新を図ろうとする方など)
ご使いみち	①コンピュータ(ソフトウェアを含みます) ⑤関連設備(LANケーブルや電源装置など) ②周辺装置(モデムなどの通信装置など) ⑥デジタルコンテンツ関連設備(デジタル撮影・録音機器など) ③端末装置(多機能情報端末など) ⑦関連建物・構築物 ④被制御設備
ご融資限度額	7,200万円(うち運転資金4,800万円)
ご融資利率	基準利率(1.45%~3.90%) 特別利率A(1.05%~3.50%) 特別利率C(0.55%~3.00%) 特定の目的に使用される設備を取得する資金については特別利率Cが適用されます

※利率は平成25年9月11日現在です ※お使いみち、ご返済期間、担保・保証人の有無等により異なる利率が適用されます。 ※ご相談の結果、お客様のご希望にそえないことがあります。

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 URL:<http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階
TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階
TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

景況は回復傾向にあるものの、 収益状況の低迷で実態が伴っていない状況

2013年8月

8月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-12.5ポイントで前月調査の-4.1ポイントから8.4ポイントの悪化となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は2.1ポイントで前月調査の-6.2ポイントから8.3ポイントの改善、収益DI値は-16.6ポイントで前月調査の-12.5ポイントから4.1ポイントの悪化となった。主要指標の他にも販売価格、雇用人員が改善するなど景況は緩やかに回復しているものの、収益状況の低迷が顕著で実態が伴っていない。

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
製 造 業	食料品								
	繊維・同製品								
	木材・木製品								
	印刷								
	窯業・土石製品								
	鉄鋼・金属製品								
	一般機器製造業								
	輸送用機器								
	その他								
非 製 造 業	卸売業						—		
	小売業						—		
	商店街						—		
	サービス業		—					—	
	建設業		—					—	
	運輸業		—					—	
	その他		—					—	
DI値(当月)	2.1	-22.2	10.5	-4.2	-16.6	-8.3	-16	2.1	-12.5
DI値(前月)	-6.2	-11.1	4.2	2.1	-12.5	-10.4	4	-2.1	-4.1

好 転	やや好転	変わらず	やや悪化	悪 化
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

DI(ディフュージョン・インデックス)…前年同月と比較した企業の景況感を示す業況判断指数

計算式:(「増加」「好転」した組合数-「減少」「悪化」した組合数)/有効回答組合数×100

※ただし、在庫総数についてはDI値マイナスの場合には好転、プラスの場合には悪化の方向とします。

※中央会では、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役員(19業種、48名)を情報連絡員として委嘱しており、本調査報告は、連絡員からの景況報告をもとに毎月集計しております。

業界情報

【食料品】

- 10月から外国産小麦の政府売渡価格が強力粉(パン用)で3%、中力粉・薄力粉(麺・菓子用)で6.2%の値上げとなる。小麦粉の価格は来年1月から改定になるのではないか。(製粉製麺)
- 出荷高は対前年同月比99.5%。(調理食品)
- 7月使用分より電気料金が値上げとなった。冷蔵メーカーでは品物を-18℃以下で管理するための急速冷凍設備や冷凍保管庫を保有し、大量の電力を使用するため、いまだデフレ化の環境においては大きな経営課題となっている。また、販売面では量販店のPB商品の急増など大手と中小メーカー間の格差が心配される。(冷凍食品)
- 本年8月に組合員から後継者不在による廃業の申し出があった。現在組合員数は17名であるが、過去20年来減少傾向が続いている。現在、小豆島の一部と香川県産の醤油製造・販売業者が事務レベルで合理化を推進しているが全国的にも業者の減少が続く状況の中で、地域ごとの共同化による相互扶助の精神の実践が求められている。出荷量は(4月~8月)で前年同期比97%であった。(醤油)
- 梅雨明けも早く、また猛暑で売上増を期待していたが昨年とほぼ同じくらいの売上であった。(手延素麺)

【繊維・同製品】

- 今夏のUV手袋のおおよその販売状況が見えてきた。一昨年は靴下産業の参入で20%程度の落ち込みであったが、本年度も昨年に続き対前年比10%程度の落ち込みになりそうである。今冬の防寒用手袋は縫手袋、編手袋を中心に現在のところ順調であるが、スポーツ用手袋は平年並みに推移している模様である。(手袋)

【木材・木製品】

- 9月11日~17日までの7日間、栗林公園内のかが物産館栗林庵においてオリーブ家具の展示販売コーナーを設けました。オリーブ家具は香川県産の木材を利用、小豆島のオリーブオイルを仕上げに使用した純国産、純香川産の商品です。また間伐材を使用した環境に優しい家具で、塗料に植物性のオリーブオイルを使用しているため子供が過って舐めても安全です。(家具)
- 夏期休暇(盆休み)は前半と後半に各々分かれていて全体的に10日から18日までが休み状態であり、営業活動も鈍く好調とは言えなかった。(製材)
- 全国的には住宅着工戸数は増加しているようだが、組合員の業況は低迷している。(木材)

【印刷】

- 例年8月期は売上高は減少傾向にあるが、本年の落ち込みは前年比で二桁のマイナスとなった。組合員からは残業もなく月間を推移したとの情報もある。政策に関連した業界では好況感も出ているが、当業界では本格的な景気回復はまだ先である。(印刷)

【窯業・土石製品】

- 軽油等コスト高傾向が続いており、収益が悪化している。また隣接地区での共同販売事業再構築の進展が遅れている為、市況改善への目途がたらず、先行きの不透明感が強くなってきている。(生コンクリート)
- 原油の価格上昇で本年中に資材等の単価が値上がりすると報告が届け始めた。少し上向きな景況に水を差すことになるのではと不安を感じる。(石材加工)

【鉄鋼・金属】

- 忙しい業界(復旧・復興関連等)とそうでない業界(電子等)と取引しているかどうかで稼働状況に差があるようである。原材料は秋以降に第二弾の値上げがあるやもしれず、収益に影響を及ぼす要因として各社がコスト削減活動に努めている。(鍛金)

【一般機器】

- 建設用クレーンメーカーは昨年同様に比べ、北米の資源開発に加え、震災復興が本格化したことにより生産・売上とも大幅に伸び、活発な生産活動を維持している。これらの波及効果により関連の中小部品加工業並びに一般機械製造業は受注が増え、フル操業の状況である。財政出動により公共工事、マンション建設が地方にも及んだことで鉄骨加工、フェンス類製造業は昨年同様に比べ新しい物件の受注が増え、生産量が回復してきたが原材料高を価格に転嫁しづらい状況である。ただ消費税の動向によっては今後の仕事量に悪影響が懸念される。船用機関製造、エンジン部品加工、台版、船用圧力容器製造は発注元からの単価の大幅な引き下げ要求に採算を度外視した安値価格での受注を余儀なくされている。2014年は造船建造量が大幅な減少となるが、2015年には大幅な円安の効果と省エネ技術開発の成果により、輸出に好影響が期待される。(一般産業用機械・装置)

【輸送用機器】

- LPG船の工期が長い操業が低下していますが、11月からは回復する見込みで

【造船】

【その他製造業】

- 今年は大変に暑い夏だったが、売上が暑さに比例することはなかった。(扇扇)
 - 例年8月は業界の閑散期で売上は良くないが、今年は特に猛暑の影響で客足が落ち込んだ。(漆器)
 - 8月の業況はお盆までは好調でしたが、半月ばで失速してしまいました。後半は天候がすぐれず、客足が遠のき、結局売上は前年並みでした。(綿寝具)
- ### 【小売業】
- 高温、ゲリラ豪雨により作物が出来ていなく入荷量が激減している。取引価格は高騰しているが、販売価格に全て転嫁することができず収益状況は悪化している。(青果物)
 - 最近の中東情勢の不安から原油価格が上昇し、高止まり状態。今後シリアへの軍事介入があれば、さらに上昇することが予想される。組合員の収益状況は元売り価格の値上げが販売価格に反映されておらず、今後も厳しい見通しである。(石油)
 - 7月上旬と8月に30℃以上の真夏日が続いたことでエアコンの販売は急伸し、72年の調査開始以来過去最高の実績です。下半期は消費税増税を見越した駆け込み需要が見込まれている。そのため今年度のエアコン需要は860万~880万台と過去最高の実績になると思われます。また、今期は冷蔵庫も前年度と比べ大きく伸びたが、それ以外の商品は前年度と比較すると悪い。(電機)

【商店街】

- 消費マインドは上向いているが、原材料高による生活必需品の値上げや電気料金の値上げ等により先行きの不安感が払拭できず、消費の拡大には繋がっていない。ただし、少し贅沢や良質の商品を求める傾向にあり、商品単価や1回あたりの購入金額は上がってきている。飲食店も単価の下落は底を打ったと考えられる。(高松市)
- 猛暑が続き、ビアガーデンの売上げが過去最高とか。それに反して居酒屋は苦戦だったようです。高松まつりの花火大会も打ち上げ場所の変更で人の流れが変わったように思えました。総踊りのディズニーパレードには親子連れも多く、久々に人出が多かったです。商店街に人出を感じたときは、売上も上がっています。瀬戸内国際芸術祭も多くの人出で大成功、商店街も大きなリュックを背負った若者が目立ちましたが、月末にかけて人通りも静かになりました。(高松市)
- 異常な暑さで高齢者を中心に外出を控えているよう、街はいつも閑散としていた。ガソリンや電気料金ほかももろもろの値上げで消費者は一層節約していると感じた。大手コンビニエンスストアの進出も、周辺の小売業に微妙な影響が出ていると感じた。中心市街地活性化を目的とした娯楽施設も生憎の雨で来訪者が減った。8月初旬に商店街から道を隔てて総合ディスカウントストアが進出したが、何の影響も相乗効果も感じない。(丸亀市)

【サービス業】

- 県外企業に若干活況の兆しがあるようで、県外で営業活動している組合員も出ている。(ディスプレイ)
- 瀬戸内国際芸術祭2013開催期間中は国内外からの宿泊客が増加した(旅館)。
- 一定水準以上の現状維持で進んでいる。(情報)
- アベノミクスによる経済効果が言われるなか、美容業界はいまひとつ盛り上がりを見せている。(美容)

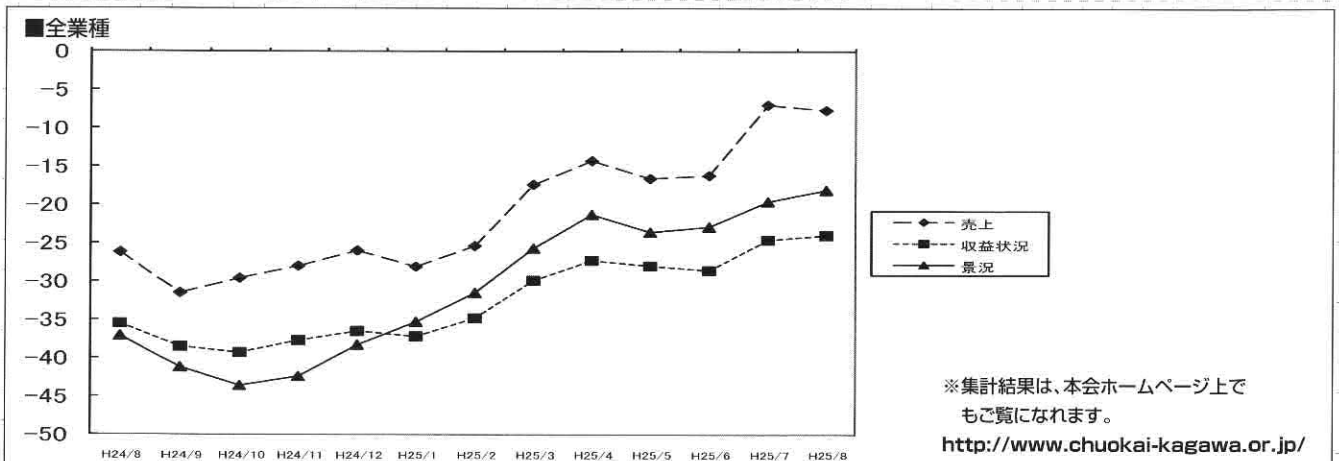
【建設業】

- 今年度、公共工事の発注状況について比較的大型工事が発注されておりますが、現状は技能労働者不足による影響が深刻になっており、工事価格が上昇しております。(建築)
- 設計労働単価の引き上げ、最低制限価格の若干の引き上げ等により僅かではあるが収益状況が好転した。(総合建設)

【運輸業】

- 景気の低迷により営業収入、輸送人員とも減少傾向に歯止めがかからず依然として厳しい経営状況が続いている。また、円安により燃料のLPGが値上がりしており、経営を圧迫する要因となっている。(タクシー)
- 7月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は11.5%の増加となり、4ヶ月連続して対前年を上回った。また、総利用車数についても対前年同月比11.5%増となった。(トラック)
- 売上高の増加については昨年より稼働日数が1日多かったためと考えられる。燃料価格の上昇により収益状況は微妙に下がってきている。人件費や燃料費が上がり収益が一定水準であることが不思議。不採算部門の見直しなど、これ以上の合理化は難しい。(貨物)

全国集計による主要3指標(DI)の推移(対前年同月比)



いま、「自己変革」のとき

～『中小企業白書(平成25年版)』を読んで～

最終の今月は「中小企業とともに。社会システムの自己変革を考えよう～まとめに変えて～」について掲載します。

VOL.3

プロフィール

桜美林大学経済・経営学系教授 堀 潔

1990年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。常磐大学短期大学部専任講師を経て1994年桜美林大学経済学部専任講師。2003年より現職。日本中小企業学会理事。日本経済政策学会理事。著書に『地域インキュベーションと産業集積・企業間連携』(三井逸友編著:御茶の水書房)『日本と東アジアの産業集積研究』(渡辺幸男編著:同友館)など。

※文中に記してある図表番号や事例番号は『中小企業白書(2013年版)』に掲載されているものである。本稿ではこれらの掲載は割愛したので、関心のある図表や事例、コラムに関しては、直接、『白書』での確認をお願いしたい。



IV. 中小企業とともに、社会システムの自己変革を考えよう

～まとめに代えて～

最後に、『白書』を通読しての筆者の感想や若干のコメントを述べて、本稿のまとめに代えたい。

1. 現場の経営課題に密着した分析

～中小企業どうしの連携にも注目を～

過去3年間の副題を振り返ると、「ピンチを乗り越えて(平成22年版)」「制約条件の克服(平成23年版)」「試練を乗り越えて(平成24年版)」という言葉に見られるように、全体的に厳しい状況の中での中小企業の生き残り策や、苦境の中にある中小企業を支援する政策ツールについての解説が多かった。これらと対比すれば、今年の『白書』は、最近の景気回復傾向を背景に、全体として前向きな印象の内容となっている。「起業・創業」「新事業展開」「事業承継」「情報技術の活用」といった中小企業者の積極的な事業展開に注目して、現場の経営課題に役立つ分析がなされていることは、中小企業経営者や中小企業で働く人々にとっても参考になる部分が多いと思う。

ここ数年、企業事例やコラムの充実が図られている点も評価したい。今回は『白書』の副題が「自己変革」であるせいも、とりあげられた事例等も個別企業のものが多かった。欲を言えば、複数企業による企業連携事例をもう少し意識的に紹介することがあってもよかったのではないかと思う。とりわけ中小企業組合等の連携組織は、経営資源の乏しい中

小企業が互いに足りない経営資源を補完しあう仕組みとして長年機能しているからである。

2. 被災地域への配慮を忘れずに

～明日のわが国は被災地から～

その一方で、東日本大震災被災地域の状況については昨年版に比べると大幅に記述が少なくなった。東日本大震災から2年が経過し、経済指標の中には震災以前の水準まで回復したのものもあるとはいえ、震災への対応や地域貢献活動に対する記述がやや淡泊ではないか、との印象を持つのは私だけだろうか。被災地が抱えるさまざまな問題のうちの多くは被災地以外の地域にも共通して存在する問題であり、被災地の復興はわが国の地域再生・活性化の先駆的モデルとなりうる。いつまでも過去のことにこだわるわけにもいかないだろうが、せめて昨年並みの調査と分析がほしかった。

3. 過去を振り返り、明日を展望する『白書』に

1963年(昭和38年)の中小企業基本法制定を受けて、翌年から毎年『中小企業白書』は発行され、実は、今回が50回目の節目の号となる。これを記念して、『白書』は最後に

中小企業白書 を読む

「過去50年の中小企業白書を振り返って」と題する一章を設け、各年版の内容を数年ごとにまとめて概観している。それぞれの時代背景のもとでの中小企業のありようと政策課題がまとめられており、たいへん興味深い内容だった。ただ、それだけに、最近10年ほどの中小企業白書の内容については、「一つの時代の動向として要約して記述するには(中略)多くの内容を含んでいる」として、各年版白書の副題や見出しを一覧として並べるだけにとどめたのは、読み手にとっては残念だった。

4. 「自己変革」だけでは対処困難な問題もある

総じて言えば、今回の『白書』は中小企業に積極的な行動を求めている。新事業展開にしても、事業承継にしても、I

Tの導入・活用にしても、取り組んだ企業とそうでない企業との間のパフォーマンスの違いを明示し、挑戦を躊躇する企業に対しても積極的に自己変革を行うことで将来の展望が開ける可能性があることを意識させようとしているように読める。1999年の中小企業基本法改正以降、中小企業白書のメッセージは総じて「自助努力しよう」「頑張ろう」という類のものであり、この点では今回の『白書』も過去の中小企業白書と同じ流れにある。何でもかんでも要求するのは酷だけれども、次年度以降、中小企業の自己変革や自助努力だけでは対処が困難な諸問題、例えば、中小企業の雇用や賃金等の労働問題、あるいは協会けんぽの財政問題、厚生年金基金制度の見直しなど社会保障問題が中小企業に与える影響などについても現状調査と分析を望みたい。

中小企業大学校 研修の御案内

●お問い合わせ先

中小企業基盤整備機構近畿支部

中小企業大学校関西校

兵庫県神崎郡福崎町高岡

TEL.0790-22-5931

- タイトル キャッシュを生み出す最適在庫管理
- 日 時 平成25年11月27日(水)～11月28日(木) [2日間]
- 会 場 中小企業大学校 関西校
- 対象者 経営幹部(部長、工場長、部門長クラス(経営後継者含む))、管理者(課長クラス)
- 受講料 21,000円(税込)
- 定 員 20名
- 特 色 ①在庫管理の重要性への理解を深めます。
②現場で活用できる在庫管理の手法を学びます。
③自社の在庫管理方法の現状把握と改善策を演習を通じて検討します。
- 講 師 生産改善オフィス Attic faith 代表 顯谷 敏也(あらや としや)

※詳細情報

<http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/25kansai/073663.html>

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書 名	著 者	出版社/定価
1	ロスジェネの逆襲	池井戸 潤	ダイヤモンド社/1,575円
2	人間にとって成熟とは何か	曾野 綾子	幻冬舎/798円
3	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾	講談社/1,785円
4	置かれた場所で咲きなさい	渡辺 和子	幻冬舎/1,000円
5	医者に殺されない47の心得	近藤 誠	アスコム/1,155円

香川県書店商業組合調べ

ご活用ください。 産業雇用安定センター

(当センターは、東海地方自治と産業・雇用関係の協力により設立された公益法人で、「失職なご労働者様」の救済に向けて、就業ネットをはじめ、各種研修の支援業務を行っています。)

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

- 人材の受入(途中採用)や人材の送出(雇用調整による再就職支援など)をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

●お問い合わせは



公益財団法人 **産業雇用安定センター 香川事務所**

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20(高松センタービル8階)



TEL.087-851-1011
FAX.087-851-1014

ご利用時間
9:00~17:00
(土・日・祝日は除く)

